

大曲支援学校せんぼく校生徒との里山交流活動

令和5年10月13日、遊々の森協定を締結している仙北市角館町にある「外ノ山遊々の森」における活動の一環で、大曲支援学校せんぼく校の生徒7名を対象に、里山交流活動を実施しました。

はじめに、校舎前に設置した会場で「種飛ばし実験」を実施しました。はじめに、クイズ形式で自分では動けない樹木の子孫の拡げ方を学んだあと、生徒たちが実際に折り紙で種子の模型を作って飛ばし、種子が風に乗って運ばれることを確認しました。

次に、生徒たちは3班に分かれて「アート作品作り」を実施しました。あらかじめ森で採取していた葉っぱや木の実などから、生徒たちが素材を選んで台紙に貼り付けたり、絵を描き加えるなどしてアート作品を作りました。

その後、栗で飾りつけたテーブルの前に集まって、仙北市教育委員会による紙芝居「いがぐり星人グリたろう」を鑑賞しました。

今年はクマの出没が多いことから、森での活動は行いませんでしたが、里山遊びを楽しんでいただき、充実した一日となりました。



植物のふしぎについて学びました



種子の模型を飛ばしています



アート作品をつくりました



紙芝居を楽しんでいます